

幸せのじかん



江戸時代の栄華ぶりを物語る脇町の「うだつ」。「うだつ」とは、隣家との間に建てる屋根の上の防火壁で、財力の象徴とも言われ「うだつが上がらない」という慣用語の語源と言われている

※イラストはイメージです。

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの 夕ネまき 新聞

No.577

三味線もちつき〈徳島県〉

江戸時代に阿波藍（藍染め）で栄えた美馬市脇町では、年の暮れに豪商たちが三味線と歌や太鼓に合わせて餅をついたのだそう。今でも官公庁では仕事納めの日に実演し、文化の伝承に努めています。

〈一緒に「損」をしませんか？〉

先日、あるダスキン加盟店の創業社長から、加盟した経緯を伺いました。親の事業を継承され、将来の事を考え新たな事業を探していた時にダスキンと出会われました。

当時は「ダスキン」を知っている人も少ない時代でしたが、話だけでもと思い、ダスキンの事業説明会に参加されました。その時にダスキン創業者の鈴木清一からかけられた言葉が、「私と一緒に損をしませんか？」だったそうです。

新たな事業を考えて事業説明会に参加されているのですから、「なぜ、損をしなければいけないのか」と思われるのが普通で、結局、説明会後に加盟したのはその方だけだったそうです。なぜ「損をしませんか？」と言われて加盟したのかをお聞きすると、「面白いことを言う社長だな。よし、やってみよう」と決意されたとのことでした。

それから四七年。雨の日も晴れの日もダスキン事業に専念し、地域の方々と親交を深め、頼られるダスキン加盟店となりました。

「損の道をゆく」と頭では理解できていても、いざ大きな壁が立ちほだかると、「損の道をゆく」思いが薄れることもあります。しかし、辛い時や悲しい時にこそ「損の道」を選び、人間として成長するチャンスと捉えることのできる人こそ、多くの人から信頼され、お役に立てる人間になるのだと教わりました。

株式会社ダスキン社長

山村輝治

店員さんに感謝

北海道伊達市 森 敬子さん

50数年ぶりの修学旅行気分
友人達と共に上京し、東京見物の後、
駅近くの居酒屋で夕食をとりました。
ところが、ホテルに着いて財布がないことに気付き、
先の店に戻ったところ、店員さんは
「すぐに追いかけて
お連れ様に渡しました」との返答。
その後、財布は無事に私の手に戻り、
翌日の鎌倉観光とクラス会も安心して
楽しく過ごすことができました。
自分のうっかりを反省するとともに、
お店の方の機転と誠実な対応に
感謝の念でいっぱいです。

01



笑顔の忠告

秋田県秋田市 谷藤 憲子さん

仕事帰り、
スーパーで夕食の買い物を終え、
レジ袋を提げて帰りかけた時、
一人の婦人が
レジに並んでいる列から私のところへ。
「奥さん、コートが裏返しですよ」
「あつ、ホントだ。教えていただいた、
ありがとうございます」
「いいえ、私もしよつちゅうですから」
と、お互いが笑顔に。
爽やかで温かい気持ちになった
出来事でした。

02



ほほえみのひろば特集

2016年もいっぱい ありがとう

気づけば2016年ももうすぐ終わり。
本年も「喜びのタネまき新聞」をご愛読いただきまして、
誠にありがとうございました。
今号では1年間の感謝の思いを込めて、
全国各地から届いた「ありがとう」のお便りを
一挙にご紹介いたします！

1歳の娘へありがとう

福島県福島市 矢戸 洋子さん

娘が生まれてから、
私達の人生は
豊かなものになりました。
義父母も娘をかわいがってくれて
いつも娘の話で盛り上がります。
支援センターではママ友ができ、
子ども同士も仲良くなつて
娘のおかげで色々なイベントにも
参加できるようになりました。
「ママ、ママ」と駆け寄ってくる娘に
どれだけ幸せをもらっていることか。
まだまだ半人前のママだけど、
これからも色々なことに
挑戦していこうね。そして、
いつも幸せをありがとう。



03

04

孫に、感謝して

栃木県足利市 片山 博治さん

80歳の誕生日、
孫が「じいちゃん、おめでとう」と、
寄せ植えの盆栽を
プレゼントしてくれた。
早速、テーブルの上に置いて毎日眺め、
中央に立っていた
「御祝」の文字が書かれた札を見ては、
長生きして良かったとの思いが深まる。
日頃、花や松などの
趣味の盆栽を見ていた孫が、
私が喜ぶと考えて
贈ってくれたことに感謝している。



うれしい心遣い

東京都八王子市 堀田 春代さん

孫が遊びに来て帰る際、
乗り換え駅まで送った時のことです。
孫が電車の中からホームにいる
私と主人に手を振っていたのですが、
車内が混んできて
孫の姿が見えなくなりました。
すると、孫の隣に座っていた女性が、
前に立っていたご主人と思われる方に
声をかけて、少しずれてくださいました。
孫が帰る寂しさもあつたのですが、
うれしそうに手を振る孫と、
隣の方に会釈をしながらの見送りは、
笑顔での別れとなりました。



05

亡き母に今すべてを感謝

神奈川県大和市 野口 眞子さん

自分がこの歳になつて、
日々の暮らしの中で、母の有難さを感じることが多くなりました。
私が小学生の頃は、料理はすべて母の手作りで
お店で買うことなどほとんどありませんでした。
昔、母と一緒に作ったかしわ餅やおはぎ、
きんぴらやひじきの煮物など
「こんな味だったかな」と
母の味を思い出しながら作っています。
もし母が料理が得意でなかったら、
私は料理ができなかったことでしょう。
亡き母に感謝せずにはられない今日この頃です。



06

ひ孫とのひととき

福井県永平寺町 末永 蓉子さん

今日は土曜日、ひ孫も保育所が休みなので
「ばあちゃん、せみを取りに行こう」と、私の部屋へやってきました。
嬉しくなつて庭へ行くと、桜の木に何匹も止まっています。
結局、二匹も捕まえられませんでした。
とても楽しいひとときでした。
自分の子どもが小さい頃は、仕事に追われ、
せみ取りなどしている暇はありませんでした。
今になつてこうして楽しい時間が過ごせることに
心より感謝しております。



07

2016年もいっぱい ありがとう

忘れがちな感謝の心

三重県鈴鹿市 米川 純子さん

08

不注意から足首を複雑骨折し、緊急入院をしました。慣れない入院生活と身動きが取れないもどかしさ、そして、幼稚園に通う息子のことが気になり、最初のうちは悔み続けていました。しかし、毎日とびつきの笑顔で、献身的にお世話をしてくださった看護師さん達、ひと言も私を責めずに毎日見舞いに来てくれた主人、息子のことをすべて引き受けてくれた主人の両親や実母、手術の励ましに駆けつけてくれたママ友達…と、たくさんの人達に本当に良くしてもらい、自分がいかに幸せであるかを実感させられました。骨折は災いでしたが、忘れがちな感謝の心を取り戻させてくれた大切な経験でした。



09

京都府精華町 西田 千恵さん

お弁当

息子がもうすぐ高校を卒業します。大変だった毎日のお弁当作りも終わりを迎えて楽になる反面、もうこの子にお弁当を作ることもないのか、と寂しく思っていました。いよいよ最後の日、返ってきたお弁当箱に手紙が入っていました。「最後のお弁当、こちそうさまでした。おいしいお弁当を毎朝早くから作ってくれて、ありがとうございました。お母さんのお弁当のおかげでここまで大きくなれました」。この言葉に今までの苦勞が報われた喜びと、やさしい子どもに育ってくれたうれしさとで涙が出ました。



10

広島県福山市 石岡 美恵子さん

四国の方々にありがとう

お遍路を始めて14年。毎月、先達さんの車で巡っているのですが、1月は体調がすぐれず参加できなかったのですが、その分の7つのお寺を、5月と6月に分けて二人で巡りました。公共の交通機関を使いますので、歩くこともあります。道中、道順が不安になった時は、車に止まってもらって道を教えてもらったりしました。四国の方々はとても親切で、わかりやすく説明してくださるどころか、「近くまで行くので、よかったですらどうぞ乗ってください」とまで言ってくれます。四国の方々、いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。



12

福岡県苅田町 園田 美佳さん

3年間分のありがとう

この3年間、車で息子を高校に送った後、山を越えて職場に通いました。その途中に小学校があり、いつも校門付近で駐在所のお巡りさんが子どもたちの交通整理をしています。雨の日も雪の日も、毎日笑顔でやさしく子どもたちを見守っているお巡りさんは、横を通るすべての車に笑顔で会釈してくれます。私は毎日その笑顔に元気をもらい、片道1時間以上の送迎を頑張りました。送迎最後の日。お巡りさんに3年間の感謝を告げたいと思いましたが、通勤時間帯ということもあり、結局この日もいつもと変わらない会釈で通りすぎてしまいました。後日やっぱり気持ちを伝えたいと思い、手紙に綴りました。お巡りさん、ありがとうございました。

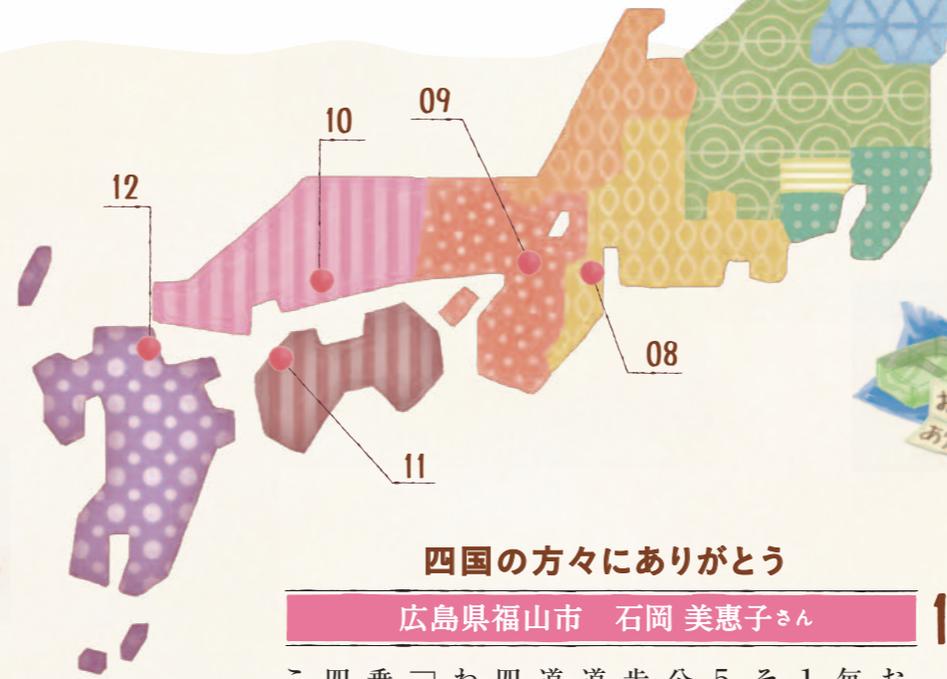


11

愛媛県松山市 森岡 明子さん

息子へありがとう

朝早くから、私のバレーボールの大会に付き合ってくれた小学2年の次男。退屈だったはずなのに、ずっと応援してくれていました。何試合か勝ち進み、決勝戦でも勝った時、感動で目頭が熱くなった私を見て、次男が小さな手を広げて「ママ、今は泣いても大丈夫よ。チャンスよ」と言ってくれました。まだまだ小さいけれど、やさしく育ってくれた我が子。感謝の気持ちでいっぱいでした。



燈々無尽 喜べる心

「針ほどの事を棒ほどにやる」
棒ほどののおかげがある
と、いつも教えがります。

どんな小さな事でも大きな喜びとすれば
大きな喜びになる。

自分がしあわせになる。

「毎日、毎日がありがたいな」と、
喜んでへんす生活こそ、本望のあわせです。

感謝する心は、幸福の山びこです。

鈴木清一

愛の輪かぐるのミニ
みんなと一緒に、
私たちができること。



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

ドーナツを食べて
社会貢献。
ミスタードーナツは、1月27日の創業の日を「反省と感謝の日」として、毎年この日の売上の一部を愛の輪基金に寄付しています。愛の輪基金では、皆さまから寄せられたこの善意の献金を、障害者リーダー育成のために大切に使用させていただいています。また、その日、全国のショップでは地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて近隣の清掃活動も実施。1月27日はお近くのミスタードーナツで、あなたもドーナツを食べて社会貢献ができます。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎ 06-6821-5270 <http://www.ainowa.jp/>

えがおで暮らせば

第五話

心の伝わるおもてなし

おもてなしの心遣い

みなさん、今年はどうな年でしたか？ 終わり良ければすべてよし。心のこもったおもてなしで、大切な方々と一緒に気持ちよく一年を終えたいものです。

私がお客様をお迎える時に大切にしていることは、心地よく過ごしていただける空間をつくること。我が家には客間などはないので、お客様をお通しするのは日々家族が暮らしているお部屋になります。それでも丁寧に整えてお迎えるようにしています。そっと季節のお花を飾ったり、これからだど、クリスマスやお正月の小物を飾ったりすると気分を盛り上げてくれると思います。

今年もあとわずか。年末はクリスマスに忘年会とおもてなしをする機会が増えます。大切な方々をお招きする時のヒントと、坂井さん流のおもてなし料理を一品教えていただきました。

我が家の味で

我が家は主人が現役の頃は外国の方をお迎えることが多く、当初は洋食とか、和食でも天ぷらやお寿司など、豪華なものを出さなくちゃと頑張っていました。ところがみなさん、そういうお料理は外で食べ慣れていらつしやるので、逆に肉じゃがやきんぴらなどの家庭料理の方が喜ばれるんです。それに気付いてからは、「我が家に来てくださるのだから、我が家の味を楽しんでいただくこと」を思うようになりました。だからおもてなし料理は、いつものおかず

を1、2品増やすだけ。あとは、彩りを考えて盛りつけや器、テーブルセッティングを少し華やかにします。お料理は目でもいただきますから、とても大切なことなんです。例えば今回紹介する筑前煮はすごく一般的なお料理ですが、彩りも良いですしお肉を大きめにすれば主菜にもなり、さらに朱塗りのお重箱など、器を二工夫すれば華やかさも増します。最後に、おもてなしで最も大切なことはお客様と楽しい時間を共有することだと思います。みなさんもぜひ大切な方と幸せを感じる年末年始をお迎えください。



坂井より子流

おもてなしレシピ

自家製めんつゆで作るおもてなしの筑前煮

旨味の詰まった自家製めんつゆで作る筑前煮は、簡単なのに味わい深く野菜の彩りが良いのでおもてなしにもぴったり。お肉を大きめにすれば主菜にもなり、お正月のお煮染めとしてもおすすめです。



いつもの筑前煮も朱塗りのお重に入ると華やかに。色々なシーンで使えます

材料	
	4~5人前
鶏もも肉	300g
ごぼう	1本
にんじん	1本
れんこん	小1節
たけのこ(茹でたもの)	中1個
こんにゃく	1枚
いんげん(茹でたもの)	適量
しいたけ	大4枚
(砂糖としょうゆで味付けしたもの)	
酒	適量
砂糖	大さじ1~2
自家製めんつゆ	大さじ3~4
(作り方は下記をご参照ください)	

※味付けの分量はお好みで調整してください。

坂井より子流

自家製めんつゆ

煮物やだし巻き、おひたしなど様々なお料理に

作り方

鍋にしょうゆ・みりんを各1カップと酒1/2カップ、昆布10cm、花かつお20gを入れ、常温で一晩ほど置く。鍋を弱火にかけ、沸騰直前に火を止めてペーパータオルでこす。最後にしっかり絞るのがコツ。

※冷蔵庫で約3週間保存可。
※残った花かつおと昆布は、天日干しや電子レンジで水分をとばして手でほぐすと、ふりかけのできあがり。



3

沸騰したら砂糖を入れて、10分ほど煮てから自家製めんつゆを加える。さらに落とし蓋をして汁がほとんどなくなるまで煮つめる。皿に盛り、茹でたいんげんと別で味付けしたいたけをトッピングしたらできあがり。



2

鍋に油をひいて鶏もも肉を軽く炒め、①の野菜とこんにゃくを加えてさらに炒める。全体に油が回ったら、具材にかぶらない程度の水を入れ、落とし蓋をして中火で煮る。



1

おいしさの一手間

この時、時間があれば乱切りにした野菜を1時間程度天日干ししてみましょう。水分が抜けて野菜の風味が増します。



鶏もも肉は3cm角に切り、酒を振って臭みをとる。ごぼう、にんじん、れんこん、たけのこは乱切りに。こんにゃくは一口大に切って隠し包丁を入れ、下ゆでしておく。



あなたのお便りや写真を
お寄せください。

みなさまからお寄せいただいた
お話をもとに新聞をつくってまいります。
どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いて
もらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
株式会社ダスキン広報部
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
e-mail:koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、
現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。
紙面やホームページでご紹介させていただいた
原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

1/2歳に
なりました



徳島県上板町
瀬尾功さん

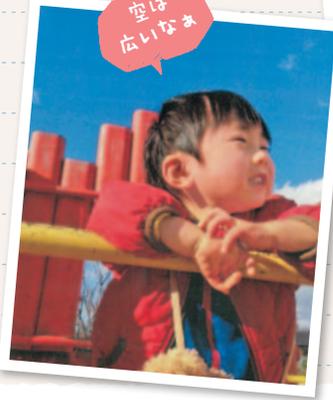
切り干し大根
おいしく
な一れ!



見てうれし、見せてうれし。
あなたのお気に入りの1枚を送ってください。

宮崎県都城市
前村喜美さん

空は
広いなま



福島県郡山市
猪腰香さん

サンタさん
寝て待って
まーす



北海道札幌市 森敏男さん

メリー
クリスマス!



滋賀県野洲市
村田暢子さん

No.419からのバックナンバーが
下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>



お得な情報満載!
LINE@は
もう登録しましたか!?

毎日をちょっと楽しくする
情報をお届けします!
ぜひ友だち追加
してみてくださいね!

LINE紹介
ページへ
アクセス!!



この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報の取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp